



## 子どもたちのための教育活動の推進を目指して

校長 野村 洋介

新しい年、2025年が始まりました。本年もよろしくお願ひいたします。

年初には、「今年はどうのような年になるか」と思うことがありますが、思うだけではなく「どのような年にしていくか」について考えることが大切であると思ひます。そして、目標を決め、それに向かって取り組むことがより効果的な成長につながると考えます。ご家庭でも、お子様と「どのような年にしていくか」そのために何を頑張るかについて話し合っただけいただければと思ひます。

学校では、「五小に通う全ての子どもたちが楽しく学校に通うことができる」そのような年になるよう全教職員で教育活動を進めていきます。そのために、子どもたちの話をよく聞き、子どもたちが納得できる指導を行うようにしていきます。指導後、子どもたちが納得していなければ、子どもたちの心の中には不満が残ります。不満が大きくなれば反抗的な態度として現れます。そうならないために納得させる指導が必要となります。ただ、納得させる指導を行うには、時間がかかります。教師が子どもたちと向き合う時間が必要となります。教師と子どもたちが向き合う時間をどのようにして確保していくかが課題となります。本校では、金曜日の6時間目を授業ではなく「ふれあいタイム」として子どもたちと教師が話し合える時間として確保しています。「ふれあいタイム」を導入した目的は、トラブル等の学校であった嫌なこと、不満などを次の週に持ち越さないようにするためです。嫌だなと思うことや不満をもったまま土曜日、日曜日を過ごすとも月曜日に学校に行きにくくなります。そうならないために金曜日のうちに解決を図っていくようにしていきます。

また、「五小に通う全ての子どもたちが楽しく学校に通うことができる」ようにするためには、保護者の方との連携が必要です。学校では、子どもたちの間で日々様々なことが起きています。できるだけ保護者の方に連絡して対応をしていますが、学校だけで解決したと思ひ込んでしまい、保護者への連絡がいかないケースが時として起こります。そのような際、保護者の方の不安につながることも多くあります。学校は、そのような状況が起こらないよう最善を尽くしますが、全ての案件で完璧に対応できるわけではありません。そこで保護者の方にお願ひです。不安に思われることがあればいつでも学校に連絡してください。そのために「子ども見守りシート」を用意しています。「子ども見守りシート」ではなく、電話でも構いません。保護者の方が不安に思えば、その思ひはお子様にも伝わります。そのような状況はお子様にとって良いとは言えません。学校教育は、保護者の方の理解を得て進めていかなければいけないと思ひます。教員の働き方改革も保護者の方への理解を得るための取組も全ては、「子どもたちが楽しく学校に通うことができる」ためのものです。

今年も五小は、子どもたちのための教育活動を進めていきます。まだまだ足りない面も多々あると思ひますが、学校、保護者の方、地域が子どもたちのために同じ方向を向いて取り組んでいければと思ひます。よろしくお願ひします。